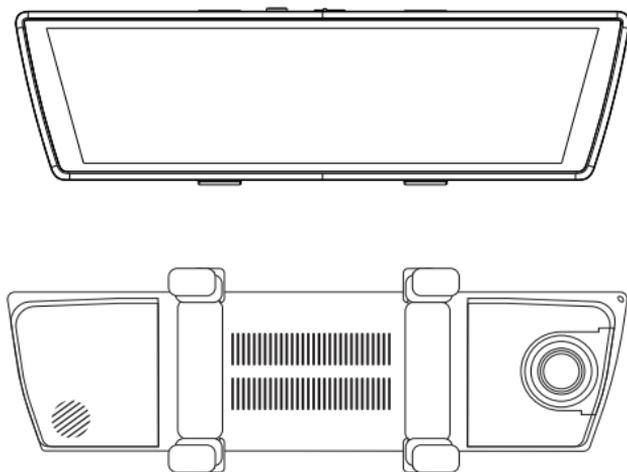


àZUR

スマートルームミラー(ドライブレコーダー機能搭載)
SRM-1

取扱説明書



この度は、本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本書（取扱説明書）をよくお読みの上、正しい接続・使用方法でお使いください。
お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書別添付

保証書は、「お買い上げ日」・「販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

目次

はじめにお読みください

安全上のご注意 (必ずお守りください)	1	録画種別について	32
使用上のご注意 (必ずお守りください)	4	録画ファイルについて	34
注意事項	5	走行モード.....	37
商品構成一覧表.....	11	再生モード.....	39
各部の名称と働き.....	12	リバース連動	41
取り付けについて.....	14	駐車監視録画	44
microSDカードについて	21	設定メニュー画面	46
電源オン/オフについて	25	設定メニュー.....	47
画面モードについて.....	27	PCビューワー	49
画面表示・		トラブルシューティング	50
ファンクションメニューについて.....	29	エラーメッセージについて.....	53
液晶画面操作について.....	31	その他	54
		製品仕様	56

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります。
- 接続、設置、配線等のイラストはイメージとなります。
- 各画面画像やビジュアルはハメコミ画面合成であり色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 本書では、microSDHCやmicroSDXCカードを便宜上、「microSD」と表記しています。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

免責事項について

- お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、そのほかの不具合またはこの製品の仕様によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機は、自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機は、全ての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害また録画データの破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 常時電源ケーブルを使用した際の駐車監視機能は、車両のバッテリーを使用します。そのため、車両のバッテリーに負担がかかりますので、定期的に点検をしてください。
- 車両のバッテリー上がりについて、弊社は一切の責任を負いかねます。
- LED方式の信号機は、録画データがちらつく可能性があり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSDカードの取扱には十分注意して、注意事項をよくお読みの上、使用してください。注意事項を守らずに発生したデータの損失や破損に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 付属品または専用別売品以外の機器やケーブル類および市販品のmicroSDカードを使用した場合による、本機の動作異常について、弊社は一切の責任を負いかねます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	禁止	絶対にしていけない事項
	強制	必ず守るべき事項

警告

必ず規定容量のヒューズを使用する、
また、交換は専門技術者に依頼する

-  規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。
(ヒューズ:2A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を
及ぼす場所には絶対に取り付けない

-  運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やケガの原因になります。

取り付けには車両の保安用品のボルト
やナットを絶対に使用しない

-  ステアリングやブレーキなどの保安用品のボルトやナットを使用すると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作しない、また画
像・表示を注視しない

-  走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け、配線後は、車の電装品が正常
に動作することを確かめる。

-  車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにな
らないように配線する

-  ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付け

! 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

⊘ 煙が出る、変なにおいがするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因になります。

● 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店でご相談ください。

付属品の小部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

⊘ 小部品を誤って、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

指示に従って正しく配線、取り付けを行う

! 取扱説明書に従って正しく配線、取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

機器の通風孔を塞がない

! 機器内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

DC12/24Vマイナスアース車で使用する

! DC12/24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

分解や改造はしない

⊘ 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

● 内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。

機器内部に水や異物を入れない

! 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙、発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

配線、取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子 **⊖** を外しておく

! バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線、取り付け作業をすると、ショートによる感電やけがの原因になります。

配線、取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

! 配線、取り付け/取り外しには、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

車載用以外には使用しない

-  車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

-  ショートや断線により、発煙、発火や故障の原因になります。

高温になる場所などに取り付けしない

-  直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると、内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けしない

-  強い曲面などに取り付けると、走行中に外れたり、落下したりなど、事故やけがの原因になることがあります。

液晶画面に表示される映像とミラー表示は異なります

-  液晶画面に表示される映像と鏡面ミラーに映る範囲は異なりますので、あらかじめ違いを確認してください。

強い衝撃を与えない

-  落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

-  指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できず機器がずれたり、事故や故障、火災の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所に取り付けしない

-  雨や洗車などで水がかかったり、湿気、ほこり、油煙などが機器内部に入ると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止

-  雷が鳴りだしたら、シガーアダプターに触れないでください。感電の原因になることがあります。

システムには限界があります

-  本製品のカメラ機能は死角を完全にカバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

使用上のご注意（必ずお守りください）

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保障するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

⚠ 注意

取り付け中はエンジンを切る

- ⚠ 本機の実取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがオンの状態で取り付けると、感電及び故障の原因になります。

磁気性があるものに近づけない

- ⚠ 本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

画質が落ちることがあります

- ⚠ トンネル入出時、急に明るさが増える場合、逆光が強い場合、夜など光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

フロントガラス、リアガラスと本機のレンズの表面をきれいにする

- ⚠ 車のフロントガラス、リアガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できないことがあります。

信号機の色を認識できないことがあります

- ⚠ LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

microSDカードの保存容量超えに注意

- ⚠ 緊急録画で記録された動画は上書きされません。ファイルが増えると、microSDカードの保存容量を超え、録画ができなくなったり、緊急録画できなくなる可能性があります。必要に応じてファイルを削除してください。

日本国内のみで使用する

- ⚠ 本機は日本国内のみで使用できます。海外では使用できません。

注意事項

GPSについて

- GPSとは、「Global Positioning System」の略称です。アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。
- トンネル内やビル群、山間部等では、GPSの電波を受信できなくなる場合があります。また、衛星の受信状態などにより、約 50m～100m程度の測定誤差が出る場合があります。
- 自転車位置はGPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自転車位置の測位を行うことはできません。
- 速度情報は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が生じる場合があります。また、停車中状態であっても、速度表示が「0km/h」にならない場合がありますが、これはGPS受信の誤差によるものであり、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 本機の録画データに記録される日時、車両の走行速度、位置情報はGPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
- GPSユニットに塗装やシール貼付等しないでください。GPS性能が落ち、十分な性能を発揮しなくなります。
- 車両のフロントウィンドウガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、GPS受信に影響が出る可能性があります。
- 車両のフロントウィンドウガラスに特殊加工が施されている場合は、GPSが受信できない可能性があります。
- 純正ミラーに取り付ける際、GPSアンテナが被らないように取り付けてください。GPSアンテナが遮蔽されている場合、GPS受信できなくなる可能性があります。
- GPSユニットは各車載機器（※1）および各アンテナ（※2）からなるべく離れた位置に設置してください。車載機器やアンテナ類の近くに取り付けると、GPSが正常に機能せず、電波を受信しなくなったり、本機もしくは各車載器が誤動作を起こす原因となる場合があります。そのような場合、各車載器から離して、GPS衛星の受信に影響のない場所へ設置してください。
 - ※1 ナビゲーション本体、ETC車載器、地デジチューナー、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機など
 - ※2 TVアンテナ、ETCアンテナなど
- GPSの受信環境により、起動時間が長くなったり、GPS受信までに時間がかかる場合があります。また、まれにGPS受信が長時間に渡ってできない場合があります。
- 最後に電源オフしてからの自転車位置と次に電源オンした地点が離れていた場合、GPS受信までに時間がかかる場合があります。
- 車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラ）などを搭載した車両のミラーに設置すると、位置によっては衝突回避支援システムからのノイズに干渉し、GPSが測位しづらくなる場合があります。
- ナビゲーション本体や地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器から漏れた電波により、GPSを受信できない場合があります。

注意事項（つづき）

アイドリングストップ車について

- 一部のアイドリングストップ車では、エンジン再始動時に電圧変動が発生することにより、供給電圧が低下する場合があります。その場合、本機の電源がオフとなる可能性があります。
- 車両のバッテリーのコンディションにより、エンジン再始動時に本機の電源が落ちる場合があります。その場合は、車両バッテリーの電圧を確認してください。

録画について

- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- LED方式の信号機では画面がチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 走行中に本機を操作したり、LEDランプやディスプレイを注視しないでください。
- 画面モード切り替えや輝度調整、静止画撮影を行う場合、周囲の安全を十分に確認した上で操作してください。
- 設定操作やリバース連動設定を行う場合は、必ず、安全な場所で車両が止まっている状態（パーキングギアに入っている状態かつサイドブレーキがかかっている状態）で行ってください。
- 夜間に録画した映像にノイズが入っているように見えたり、一瞬映像が赤くなる場合がありますが、カメラの性能によるためであり、故障ではありません。
- 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変化する場合があります。
- 電源オン後、SDカード読み込みのため、録画開始まで時間がかかる場合があります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

注意事項（つづき）

取り付けについて

- 本書の「取り付けについて」にしたがって、正しく取り付けてください。
→「P14 取り付けについて」
- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取り付けください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 車に取り付ける際には、運転の支障となる場所には取り付けないでください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ミラー一面には衝撃を与えないでください、破損でけがの原因になります。
- 他の車載器や無線機、テレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- 車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラ）などに干渉しない場所へ取り付け・配線をしてください。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には取り付けないでください。事故の際に、安全装置が正常に動作せず、けがの原因となります。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガーアダプターが濡れないようにご注意ください。また、必ず車内へ取り付けてください。
- リヤカメラを取り付ける前に、必ずガラス面の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、確実に取り付けてください。
- 純正ミラーにGPSアンテナが被らないように取り付けてください。
- 純正ミラーの形状やミラー周辺の干渉物によっては、取り付けができない場合があります。
- 純正ミラーに取り付ける際は、固定用バンド、スライドアームで確実に取り付けしてください。取り付けに不備があると、走行中に脱落するなど大変危険です。
- 車両の室内ルーフがGPSアンテナに被ってしまう車両はGPSを受信しにくい場合があります。
- 配線処理は、運転の妨げにならないように、しっかりと処理してください。
- 各配線が引っ張られた状態で配線の取り回しを行うと、断線や接触不良により動作が不安定になる可能性があります。また、電源が入らなくなったり、突然電源が落ちるなどの可能性があります。配線は余裕を持たせて取り回してください。
- 付属品以外のものは使用しないでください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時などに鮮明に記録できなくなります。
- 本体および各カメラ部は精密機器のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。

注意事項（つづき）

液晶ディスプレイについて

- 同じ映像を長時間や繰り返し表示した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。ディスプレイの明るさを調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- 液晶ディスプレイは 99.99% 以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。
- 液晶ディスプレイは周囲の温度が約-10°C以下または約60°C以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、画像表示が遅延、画像が消えるのに時間を要する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。
- 本体の温度が極端に高い場合や低い場合は、カメラ映像が乱れる場合があります。本体が適正な動作仕様温度に戻ると、正常に表示するようになります。
- 本機は内蔵バッテリーを搭載しており、バッテリーの充電状態によっては、カメラ映像がちらつきを起したり、乱れが生じる可能性があります。しばらく充電することでカメラ映像が安定します。
- 使用環境や状況により、太陽光や照明等の直接光、反射光がカメラ視野範囲内に映り込むと液晶画面が見えにくくなる場合があります。
- 夜間など暗い環境下や照明の下などでは、実際の色味などが異なる場合があります。
- ルーフ付車の場合は、画面への映り込み軽減のため、シェードを閉めてご使用ください。
- 通常のミラーとの見え方の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさや距離感が異なって見える場合があります。
特にカメラ画面（カメラモード）時は、液晶画面に映る車両や障害物が実際の大きさと異なる場合があります。
- 本機は純正ルームミラーとは視界の範囲が異なります。
- 明るいところから暗いところなどへ移動した場合等、急激な明暗の変化時にノイズが発生する場合がありますが、これはレンズの性質であり、故障ではありません。
- ディ스플레이が反射して見えにくい場合は、サンシェードを閉めてください。
- 夜間など暗いところでは、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。
 - ・ 映像の色と実際の色が異なって見える
 - ・ 後続車のライトの高さなどによっては、後続車の周囲が白くぼやけて見える
 - ・ 映像を自動的に調整することにより、特有のちらつきが発生する※映像が見えにくい場合や、ちらつきが気になる場合は、ミラーモードや走行モードに切り替えてご使用ください。

注意事項（つづき）

液晶ディスプレイについて

- 本体が発熱することがありますが、異常ではありません。
- 体調、年齢などにより、ディスプレイに表示される映像に焦点が合うまで時間がかかる場合があります。焦点が合わせづらいと感じたときは、ミラーモード（液晶オフ）に切り替えてください。
- 主に同乗者がディスプレイを凝視すると、車酔いを起こすおそれがあります。
- 液晶ディスプレイに表示されているカメラ映像は、実際に見える現実の風景と異なる場合があります。
- 液晶ディスプレイに表示されているカメラ映像は、表示フレームレートの影響から、応答速度が遅くなり、滑らかに表示しない場合があります。
- 液晶画面の汚れは、付属のクリーニングクロスで清掃してください。
- 偏光サングラス使用時、表示が見えにくい場合があります。

リヤカメラについて

- 本製品専用のリヤカメラとなります。その他の製品(他社製品含む)に接続すると、故障の原因となりますので、接続しないでください。
- 本製品は死角を完全にカバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- リヤカメラは本体同様、防水構造ではありません（ケーブル含）。必ず車内へ取り付けてください。
- リヤカメラの配線処理の際、ケーブル類が車両のドア開閉の妨げにならないようご注意ください。無理に配線をすると、断線等が起き、故障や破損の原因となります。
※配線処理が困難な場合は、車両販売店や専門業者へお問い合わせください

シガーアダプターについて

- 付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。
- シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。本体への電源供給不足により、正常に動作しない場合があります。また、カメラ映像画面にちらつきが発生する場合や火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
- 長期間本機を使用しない場合、シガーアダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。

注意事項（つづき）

本機の日付と時刻について

- 本機の日付と時刻は「GPS設定」が[内蔵]または[GPSユニット]に設定されている場合、GPSデータを受信すると自動で設定されます。
→日付設定について「P47 設定メニュー」
- ※トンネルやビル群、山間部などGPSを受信できない環境では日時が取得できません
- ※GPSを受信できない環境に置かれた場合、録画データの日時にずれが生じることがあります
- ※GPSユニットは外付けGPSアンテナであり、別売品となります

カメラレンズについて

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また、実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり異常ではありません。

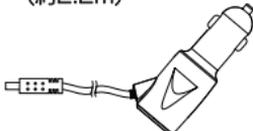
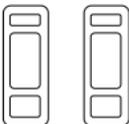
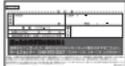
リバース連動機能について

- 本機は、バックギアに入れる（リバースオン）ことで、車の後方を本機のモニター画面で確認することができます（リバース連動機能）。
- リバース連動のカメラ映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。
- 後退する際は、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。リバース連動のカメラ映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リバース連動のカメラが映し出す範囲には限界があります。
- リバース連動のカメラ映像に映し出される車幅・距離ガイドラインは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 夜間や暗い場所、天候など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- ガイドラインはあくまで目安となります。
- リバース連動の表示調整や本機の角度調整を行う際は、車を安全な場所に停車して行ってください。
- リヤカメラの映像は広角レンズを使用していますので、実際の距離と感覚が異なります。必ずゆっくりと運転してください。

商品構成一覧表

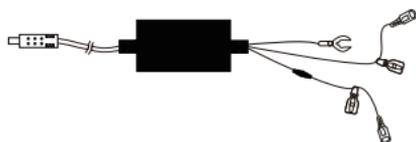
本体および付属品

設置および接続する前に、必ず以下の同梱物を確認してください。

■ 本体 	■ リヤカメラ 	■ リヤカメラ接続ケーブル (約5.5m) 
■ シガー電源アダプター (約2.2m) 	■ リヤカメラステー 	■ 固定用バンド 
■ microSDカード16GB (本体挿入済み) 	■ クリーニングクロス 	■ リセットピン 
■ 取扱説明書 	■ 保証書 	

オプション品 (別途、お買い求めください)

■ 常時電源ケーブル



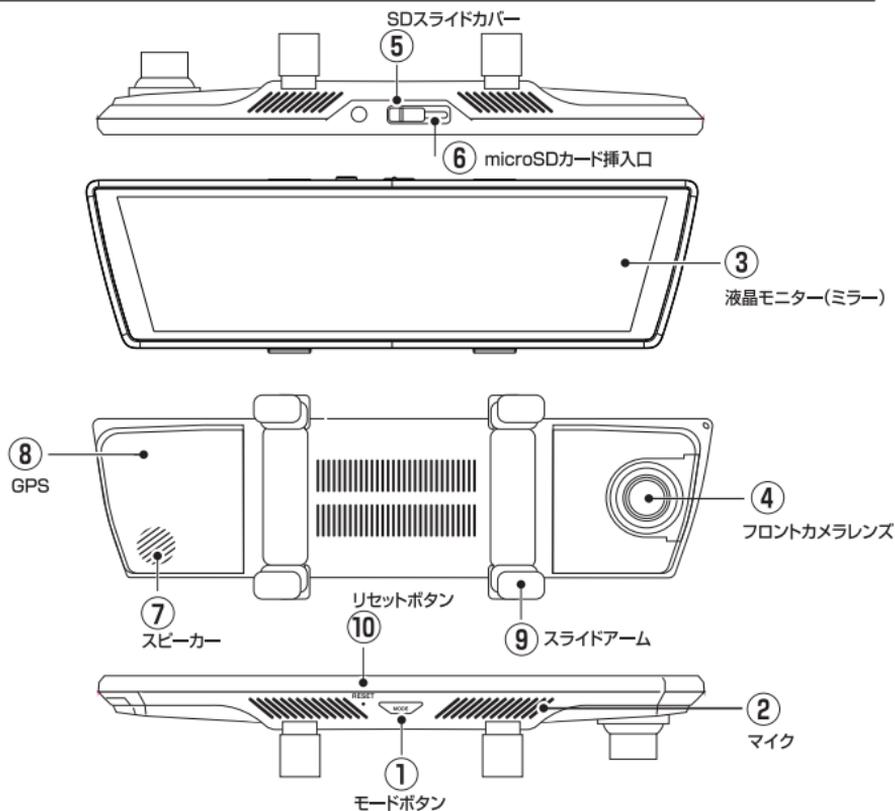
■ GPSユニット



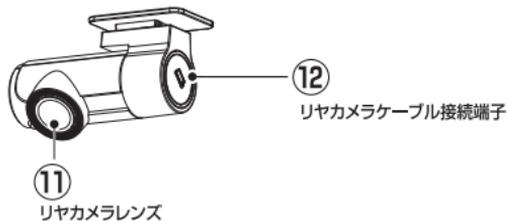
※別売品について→「P54 その他」を参照ください

各部の名称と働き

本体



リヤカメラ



各部の名称と働き（つづき）

①モードボタン

<電源オン時>

短押し：カメラモード／走行モード／ミラーモードのいずれかの画面に切り替えます。

長押し：電源オフ

<電源オフ時>

短押し：電源オン

※モードボタンの長押しで電源オフした場合のみ有効な操作となります

 注意

駐車監視モード中、モードボタンの操作は無効となります

②マイク

周囲の音声を録音します。

③液晶モニター(ミラー)

 注意

液晶ディスプレイについては、別売品について「P5 注意事項」をよくお読みください

④フロントカメラレンズ

工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

⑤SD スライドカバー

microSD カードの飛び出し防止のためのカバーとなります。

microSD カードを挿入している際は、ロックしてご使用ください。

⑥microSD カード挿入口

microSD カードを挿入します。

※無理な力で差し込んだり、抜き出したりしないようにご注意ください

※microSD カードが入りづらい場合は、一度抜き出してから、再度、垂直・水平に挿入してください

⑦スピーカー

操作音やファイル再生時にファイルに録音された音声が出力されます。

⑧GPS

GPS 衛星を受信します。

※取り付け位置によって、内蔵 GPS が受信しにくい場合があります。その場合は、オプション品の「GPS ユニット」を別途ご購入ください

→別売品について「P54 その他」

⑨スライドアーム

※アームは伸縮します

⑩リセットボタン

本機が動作しなくなった場合や期待しない動作状態になった場合、付属品のリセットピンでリセットボタンを押下してください。

※付属のリセットピンをご使用ください

⑪リヤカメラレンズ

初めてご使用になる場合、保護フィルムを剥がしてください。

⑫リヤカメラケーブル接続端子

リヤカメラケーブルの USB 端子を接続します。

取り付けについて

本体取り付け方法

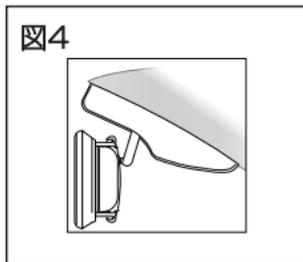
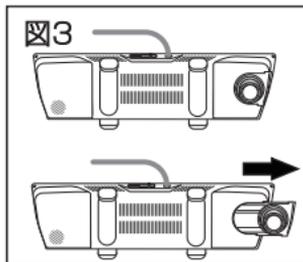
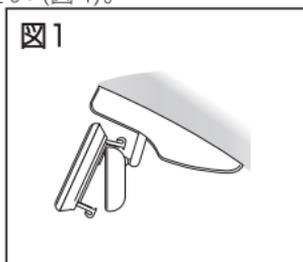
固定用スライドアームおよび固定用バンドを使って、車の純正ルームミラーに本機を取り付けます。

※取り付けの際は、ルームミラーに強い荷重が掛からないよう、本機とルームミラーをしっかりと支えながら取り付けてください

※スライドアームを取り付ける際、無理な力でアームを引っ張らないでください

<取付方法>

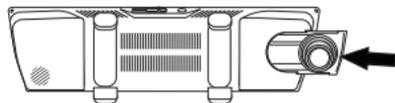
1. 固定用スライドアームを純正ミラーの上部に引っ掛け、本体を下側に下げながら純正ミラーに挟み込みます（図1）。
2. もう片側も同じ方法で取り付け、本体の位置を調整します。
3. 純正ルームミラーに挟み込んだら、固定用バンドをスライドアームのフックに引っ掛けます（図2）。
4. 取り付け後のミラーの状態によって、フロントカメラレンズをスライドさせます（図3）。
5. 純正ミラーと本機を一緒に持ちながら、本機が確実に装着されていることを確認してください（図4）。



フロントカメラ角度調整

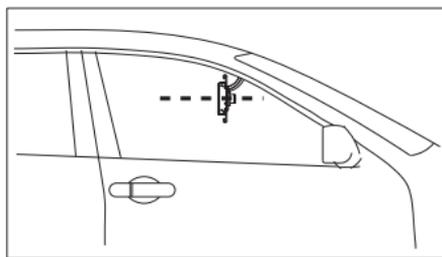
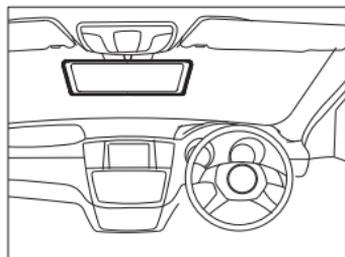
フロントカメラはレンズ周りを動かすことで角度調整ができます（上下左右約12°）。円を描くように回すことで可視角度調整できます。

※レンズ部分には触れないでください



取り付けについて (つづき)

本体取り付けイメージ



ご注意

- ・本製品が純正ミラーにしっかりと装着されているか確認の上、ご使用ください。
 - ・ルームミラーの車体への取り付け強度が弱い車種などは、破損やぐらつきの原因となりますので、ご注意ください。
 - ・取り付け時は、ルームミラーに強い荷重が掛からないように、ルームミラーをしっかり支えてください。車体への取り付け強度が弱い一部の車種では破損する原因となります。
 - ・本機は、純正ルームミラーとは視界の範囲が異なります。
 - ・本機は、純正ルームミラーに直接取り付けるため、振動などによりミラーが触れてしまう場合やルームミラー自体が傾いてしまう場合があります。
 - ・走行中、運転者によるミラーの角度調整や操作は絶対に行わないでください。
 - ・本製品は、純正ミラーと距離感や視界の範囲が異なりますので、ご注意ください。
 - ・取り付けの際、純正ミラーに負荷が掛からないように、両手で押さえながら作業を行ってください。
 - ・運転者の視界を妨げないように取り付けをしてください。
 - ・本機のミラーで後方がしっかり見えることを確認してください。事故などの原因になります。
 - ・取り付けの際、本機の鏡部分（液晶部分）やフレームなどを強く押しついたりしないでください。
 - ・車両進行方向にカメラを向けて取り付けてください。
 - ・角度調整を行う際、純正ミラーと一緒に持って調整してください。
 - ・紫外線の影響により、本体が色褪せする場合があります。
 - ・各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラやセンサー類）、エアバッグ、ETC等の機能が妨げられないように取り付けを行ってください。
- ※詳細は車両の取扱説明書を参照ください
- ・純正ルームミラーが薄い場合、本機の固定部分の内側にはまってしまい、傷がつく恐れがあります。必ず、ゴムの部分で固定するように取り付けしてください。
 - ・上記の警告・注意に従わない場合や誤った使い方、または分解・改造された際の事故、故障、破損などにつきましては、弊社では一切その責任は負いかねます。

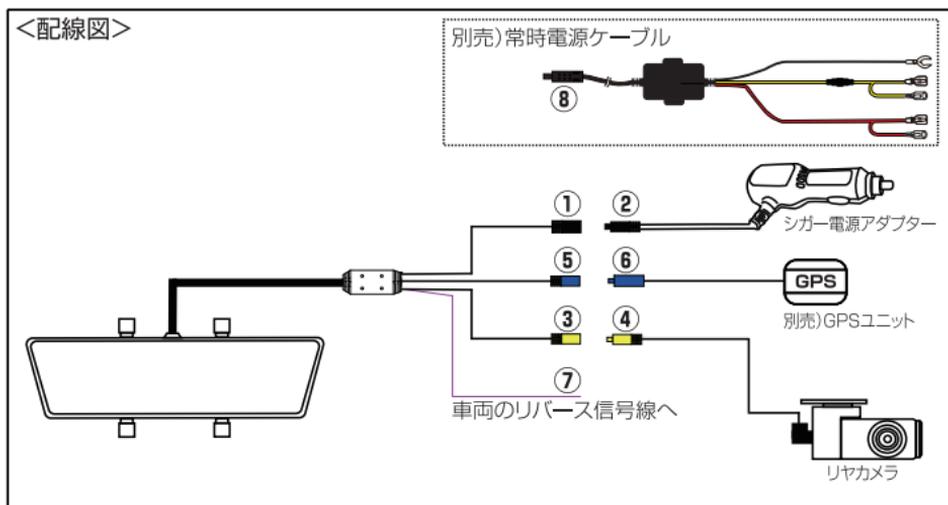
取り付けについて (つづき)

各種ケーブルの接続

本体と各種ケーブル類を接続します。

ケーブルは以下の通り、各用途によって差込口が異なりますので、ご注意ください。

※各プラグには向きがあるため、無理に差し込むと破損します。形状を確認して接続してください



<シガー電源アダプターの接続>

黒プラグ①+黒プラグ②を接続します

※別売品の常時電源ケーブル⑧を使用する場合は、黒プラグ①と接続します

<リヤカメラの接続>

黄プラグ③+黄プラグ④を接続します

<GPSユニットの接続(別売品)>

青プラグ⑤+GPSユニットプラグ⑥を接続します

※本機はGPSが内蔵されていますが、内蔵GPSの受信感度が悪い場合、オプション品のGPSユニットを接続します

<リバース線の接続(リバース運動)> →リバース運動について「P41 リバース運動」

車両のバックランプのプラス配線にリバース信号線(紫線)⑦を接続します

※バックギア(リバース)をオンした際、バックカメラとしてご使用する場合、この接続が必要となります

※リバース線の接続を行わない場合は、バックギアをオンにしてもリバース運動が作動しません

取り付けについて (つづき)

シガー電源アダプターの接続

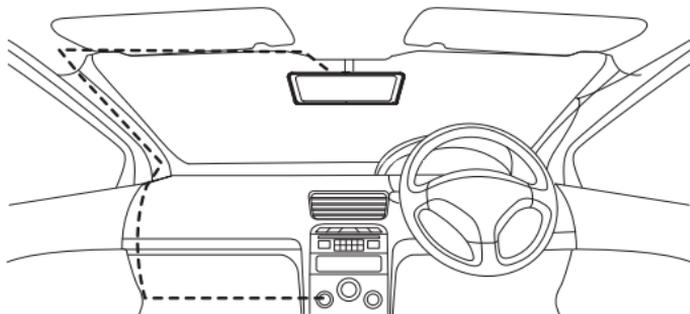


- ・シガー電源アダプターは必ず付属品をお使いください。
- ・付属品以外のシガー電源アダプターを使用した場合、本製品もしくは車両が破損する場合があります。また、動作した場合であっても、電圧の関係上、録画できない場合や画面のちらつきが発生する可能性があります。
- ・シガーソケットを分岐した状態で使用しないでください。分岐された状態で使用すると、電圧の関係上、録画できない場合や画面のちらつきが発生する可能性があります。
- ・シガーライター使用直後は、電源端子が高温になっています。そのままシガー電源アダプターを接続すると先端が溶断・ショートする可能性がありますので、しばらく時間を置いて、熱が冷めた状態でシガー電源アダプターを接続してください。
- ・安全に運転するため、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないようにケーブルを配線してください（必要に応じてインシュロック等で配線してください）。
- ・長期間本機を使用しない場合、シガー電源アダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。
- ・キーを抜いた状態または車両電源がOFF状態でシガープラグに通電している車種は、バッテリー保護のため、エンジン停止時は必ず、シガー電源アダプターを抜いてください。

1.同梱のシガー電源アダプターを車両のシガーソケットに差し込みます。

※この時、車のエンジンはオフ(アクセサリオフ)の状態でご接続してください

(エンジンオン状態で接続すると、破損・故障の原因となります)



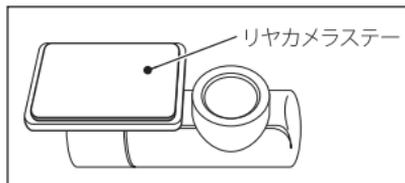
車両のシガーソケットから電源を取ります。

取り付けについて (つづき)

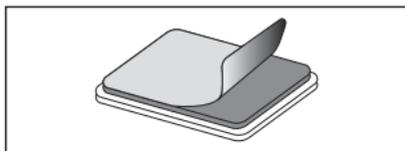
リヤカメラ取り付け方法

<取付方法>

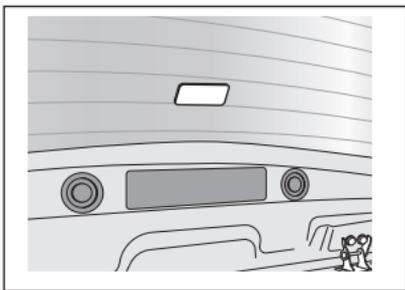
1. リヤカメラの設置場所を決め、リヤカメラステーを後部ガラスに貼り付けます。
※貼り付け面の油分や汚れを拭き取り、よく乾燥させた後、両面テープでしっかりと後部ガラスに貼り付けます
※粘着力を高めるため、リヤカメラ本体を取り付け後、24時間放置することをお勧めいたします



リヤカメラステーは、リヤカメラ本体からスライドさせることで取り外しができます

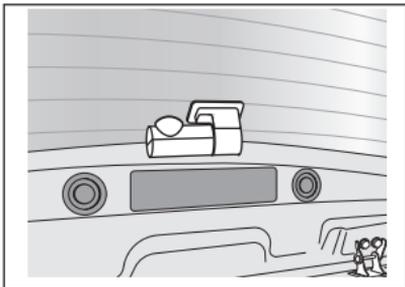


粘着シートを取り外す

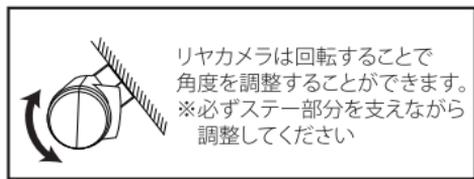


後部ガラスにしっかりと貼り付けます

2. リヤカメラをステーに取り付けます。



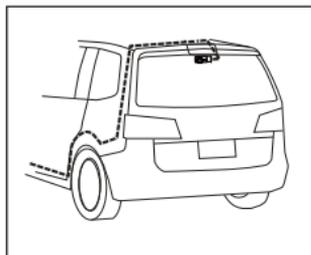
リヤカメラをステーにスライドさせながら取り付けます



取り付けについて（つづき）

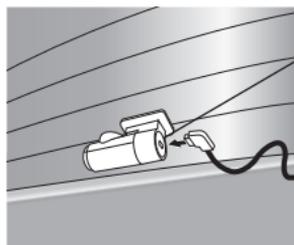
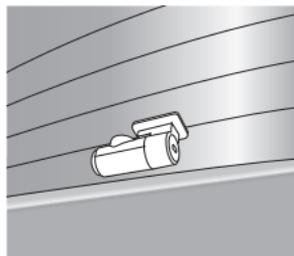
リヤカメラ取り付け方法

3.リヤカメラケーブルをリヤウィンドウまで配線します。

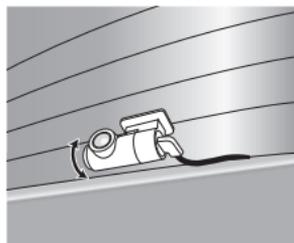


左図イラストでは、車内下側を配線していますが、車種によっては、リヤカメラケーブルの取り回しにより、車内上部（ルーフ、内張内等）を通す必要があります

4.リヤカメラ接続ケーブルをリヤカメラ本体のUSBポート（端子）に接続します。



USBポート（リヤカメラケーブル接続口）



リヤウィンドウの上部に貼り付け、角度調整することで、最適の映像を録画できます。

※カメラの角度調整をする場合は、カメラ本体を支えながら調整してください

（無理に回すとステーから外れる可能性があります）

取り付けについて (つづき)

5.バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認してください。

- ※リヤカメラおよびケーブルが損傷すると、カメラ内部やケーブルに湿気や水が入り、破損の原因になります
- ※実際の映像を確認しながら取り付けをしてください



ご注意

- ・安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないように設置および配線をしてください。
- ・すべての付属品を接続してから、電源を入れてください。
- ・本機に電源が入っている状態で、リヤカメラケーブルを抜くと、システム保護のため、本機は再起動します。
- ・電源がオンの状態でリヤカメラケーブルの抜き差しはしないでください。故障の原因となります。
- ・電源オンの状態で、付属品を接続すると、誤動作したり、故障する可能性がありますので、おやめください。
- ・リヤカメラを取り付ける際は、本製品の液晶画面で映像が上下逆さまになっていないことを確認してから、取り付けてください。
- ・取付け後両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体が後部ガラスにきちんと貼り付いていないと剥がれることがあります。
- ・取り付け位置によって、後方車両のヘッドライトや太陽光などの光の反射の影響を受けやすくなる場合がありますので、取り付けの際は、適切な位置を確認しながら取り付けをおこなってください。
- ・高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、後部ガラスの各種アンテナに干渉し、テレビやラジオの受信感度が低下する場合があります。その場合は、各種アンテナから50cm以上離して取付するか、アンテナを離してください。
- ・各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラやセンサー類）、エアバッグ、ETC等の機能が妨げられないように取り付けを行ってください。
※詳細は車両の取扱説明書を参照ください
- ・上記の警告・注意に従われない場合や誤った使い方、または分解・改造された際の事故、故障、破損などにつきましては、弊社では一切その責任は負いかねます。

microSDカードについて



ご注意

安定してご使用いただくため、microSDカードを定期的にフォーマットしてください。※推奨1ヶ月

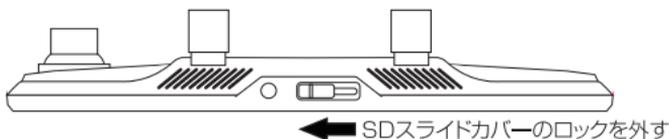
microSDカードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- 付属のmicroSDカードを使用してください。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの破損や記録ができない恐れがあります。
- microSDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換を推奨します。正常に使用していても、長期間使用すると、正常に記録できなくなる場合やカードエラーになり使用できなくなる場合があります。
- フォーマットしないままご使用されると、正しく録画ができない場合があります。
- フォーマットする際は、本機によるフォーマットをするか、パソコンでフォーマットをおこなってください。
- microSDカードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- microSDカード自体の寿命で使用できなくなった場合、パソコンでも読み込みができなくなり、正常にご使用できなくなります。
- microSDカード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをおすすめします。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットからシガーアダプターを抜き、本体の電源をオフにしてください。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。
- 市販のmicroSDカードによっては、認識しない場合や挿入、取り外しにくい場合があります。
- 市販のmicroSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- 市販のmicroSDカードについての仕様に関しては、microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- 変形しているmicroSDカードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- 本体の動作温度が仕様外の場合、microSDカードが正常に動作しない場合があります。
- microSDカード自体に塗装やシール貼付されている場合は、ご使用できませんので、ご注意ください。
- 本機は、8GB～64GB Class 10のmicroSDカードに対応しています。ただし、全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。市販品のmicroSDカードを使用された場合の動作不良に対しては保証対象外となります。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。
- フォーマット作業によるmicroSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
- フォーマット作業によるmicroSDカードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社は一切その責任を負いかねます。

microSDカードについて（つづき）

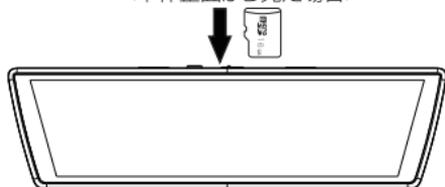
microSDカードの挿入と取り出し

1. microSDカードを挿入/取り出しする場合は、SDスライドカバーのロックを外します。

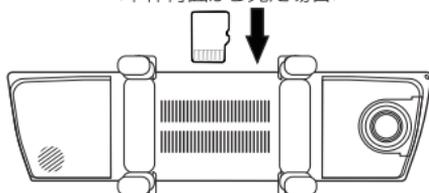


2. microSDカードの向きに注意してスロットに差し込んでください。

<本体正面から見た場合>



<本体背面から見た場合>



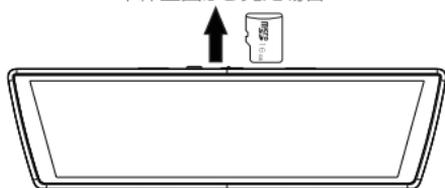
3. microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認してください。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください

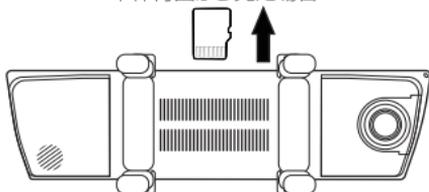
4. microSDカードを取り出す際は、microSDカードを押し込み、microSDカードが少し飛び出してから引き抜きます。

※勢いよく飛び出す場合がありますので、紛失にご注意ください

<本体正面から見た場合>



<本体背面から見た場合>



ご注意

- ・ microSDカードを挿入する際は、正しい向きを確認してから挿入してください。
- ・ 付属品のmicroSDカード以外を使用すると、正しく録画ができない可能性があります。
- ・ microSDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
- ・ 事故発生時は、記録された映像データが破損しないよう、microSDカードを抜いて、保管してください。

microSDカードについて (つづき)

microSDカードのフォーマット

本製品をご使用になる前に、microSDカードをフォーマット（初期化）してください。フォーマットの手順は下記の通りです。

※microSDカードをフォーマットする前に、重要なデータをバックアップしてください

- 1.同梱されているmicroSDカードが挿入されていることを確認してください。
- 2.車のエンジンをオン（ACC ON）もしくは、本機の電源ボタンを操作して、本体を起動します。
→電源の入れ方について「P25 電源オン/オフについて」

- 3.起動すると、自動的に録画が開始されるので、画面をタッチして、ファンクションボタン内の「録画停止」ボタンをタッチします。
※録画を停止しないと設定メニューに切り替えることができません
※画面モードをカメラ画面に切り替えないとファンクションボタンが表示されません



録画/録画停止ボタン

- 録画開始ボタン
- 録画停止ボタン

- 4.設定メニューボタンをタッチして、設定メニューに入ります。



設定メニューボタン

- ⚙ 設定メニューボタン

- 5.設定メニュー内にある「フォーマット」を選択します。
画面をドラッグすることで、メニュー項目が切り替わります。

→設定メニューについて「P47 設定メニュー」



画面をドラッグ



フォーマット

「フォーマット」を選択

microSDカードについて（つづき）

microSDカードのフォーマット

6.「実行」を選択すると、microSDカードがフォーマットされます。



ご注意

- ・フォーマット操作は、車両が停止している状態で行ってください。
- ・フォーマット中は本機の電源を切らないようご注意ください。
- ・フォーマットを行うと、microSDカード内のデータが全て消去されます。大切なデータはパソコンへコピーして保存をしてください。
- ・本機でフォーマットができない場合は、パソコン等でフォーマットを行ってください。

電源オン/オフについて

電源オン

<エンジン連動>

- シガー電源アダプターが接続されている状態でエンジンオン（ACCオン）すると、自動的に電源オンとなり、オープニング画面が表示されます。

<手動操作>

- 起動中にモードボタン長押しで電源オフした後、再度、モードボタンを押すと、本機が電源オンとなり、オープニング画面が表示されます。
 - ※エンジンオン状態（ACCオン）かつ意図的にモードボタンで電源をオフした場合のみ、有効な操作となります



電源オフ

<エンジン連動（シガー電源アダプター接続時）>

駐車監視の設定により、エンジン停止時の動作が異なりますので、ご注意ください。

●駐車監視設定が[高]または[低]の場合

- ▶エンジンをオフにすると、一度電源オフとなり、その後駐車監視モードスタンバイ状態となります。

→駐車監視録画について「P44 駐車監視録画」

●駐車監視設定が[オフ]の場合

- ▶エンジンをオフにすると、自動的に電源オフとなります。

→駐車監視の設定について「P47 設定メニュー」

- ※駐車監視の設定が[高]または[低]の場合は、内蔵バッテリーにより駐車監視モードに切り替わります
- ※別売の専用常時電源ケーブルを使用した場合については、「P54 その他」を参照ください

<手動操作>

- 電源オン時にモードボタンを長押しすると、本機の電源がオフとなります。
 - ※エンジンオン状態（ACCオン）かつ意図的にモードボタンで電源をオンした場合のみ、有効な操作となります

電源オン/オフについて（つづき）



ご注意

<エンジン連動ON機能について>

- ・本機は、エンジン連動機能が搭載されているため、車のエンジンオンで自動的に電源が入るようになります。また、車のエンジンをオフにすることで、自動的に電源がオフとなります。
- ※車種によっては、車両システムの影響からエンジン連動しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・駐車監視機能設定が[オン]の場合は、車のエンジンをオフにすると、駐車監視モードに切り替わります。
- ・本機は、取り付け車両のバッテリー電圧のコンディションや配線の取り回しによっては、車のエンジンを始動した場合、エンジン連動で起動しない場合があります。その場合、モードボタンを押して電源を入れるようにしてください。
- ・お買い上げ時や長期間、本製品をご使用にならなかった等により、本体内蔵バッテリーの充電不足により、電源オンしても電源が入らない場合があります。その場合、本機へ通電をおこない、充電をするようお願いいたします。充電をすると通常に電源オンすることができます。

<アイドリングストップ車での電源オフについて>

- ・アイドリングストップ車で本製品をご使用されている場合、車両のバッテリー電圧のコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで製品の電源がオフになる場合があります（バッテリーや配線を見直しをしてください）。
- その場合、モードボタンを長押しして再度電源を入れるようにしてください。

<電源オフ/オンのタイミングについて>

- ・本機の電源をオフした直後は、最終録画ファイルのファイナライズとともに内部メモリ保護回路が働くため、オフ直後に再度電源をオンした場合、電源が入らない場合があります。電源をオフしてから約5秒～10秒以上経過した上で、再度、電源をオンするようにしてください。

<内蔵バッテリーのみでの電源オンについて>

- ・内蔵バッテリーのみで本機を起動させることはできません。

画面モードについて

画面モード

本機は、通常録画画面を以下の3つのモード（画面）に切り替えることができます。

<カメラモード>

液晶画面にリヤカメラ映像を表示させます。操作により、フロントカメラ映像表示に切り替えることも可能です（約30秒間）。

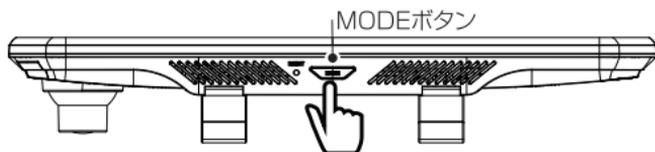
<ミラーモード>

液晶画面をオフにします（ルームミラーとして使用します）。

<走行モード>

液晶画面に速度情報および車線逸脱警告機能を表示させます。

→走行モードについて「P37 走行モード」



画面モードの切り替え

設定されている画面モードから、一時的に異なる画面を表示させたい場合は、本体下部にある[MODE（モード）]ボタンを押下することで切り替えることができます。

[MODE（モード）]ボタンを押下するたびに、以下の順番で画面モードが切り替わります（初期値=カメラモード）。

カメラモード → 走行モード → ミラーモード → カメラモード・・・

ご注意

- ・MODEボタンで一時的に別の画面モードを切り替えた場合、何も操作をしない状態が約30秒間継続すると、設定されている画面モードへ自動的に切り替わります。
- ・一時的に画面モードを切り替えた状態から、電源をオフして、再度オンすると、設定されている画面モードを表示します。
- ・一時的に画面モードを切り替えた状態から、メニュー画面に切り替えて、再度通常録画画面に戻った場合は、設定されている画面モードを表示します。
- ・画面モードがどの状態であっても、ドライブレコーダー機能は作動します。

画面モードについて

画面モードの選択

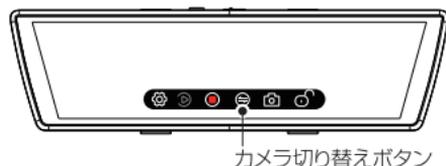
どの画面モードを固定して使用するかは、設定メニュー内の「画面モード」設定で選択することができます。選択することで、電源オン時は、選択された画面モードを毎回表示します。

→画面モードの設定について「P47 設定メニュー」

フロントカメラ映像の切り替え

カメラモード時に、ファンクションボタンの「カメラ切り替え」ボタンをタッチすることで、フロントカメラ映像に切り替えることができます。

フロントカメラ映像時に、再度、「カメラ切り替え」ボタンをタッチすると、リヤカメラ映像に切り替えることができます。



 カメラ切り替えボタン

ご注意

- ・フロントカメラ映像に切り替えた後、何も操作をしない状態が約30秒間継続すると、自動的にリヤカメラ映像に切り替わります。
- ・フロントカメラ映像に固定することはできません。
- ・フロントカメラ映像を表示している状態から、電源をオフして、再度オンすると、元の設定画面であるリヤカメラ映像を表示します。

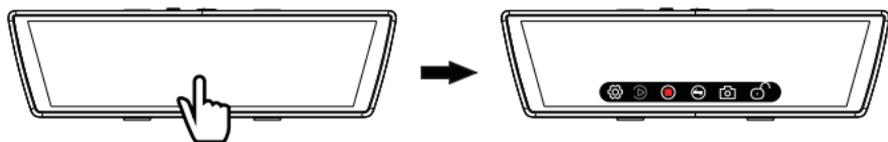
自動録画について

通常録画面（3つの画面モード）画面から設定メニュー画面等に切り替え、再度元の画面（通常録画面）に戻った場合、自動的にループ録画（常時録画）を開始します。

画面表示・ファンクションメニューについて

ファンクションメニューの表示方法

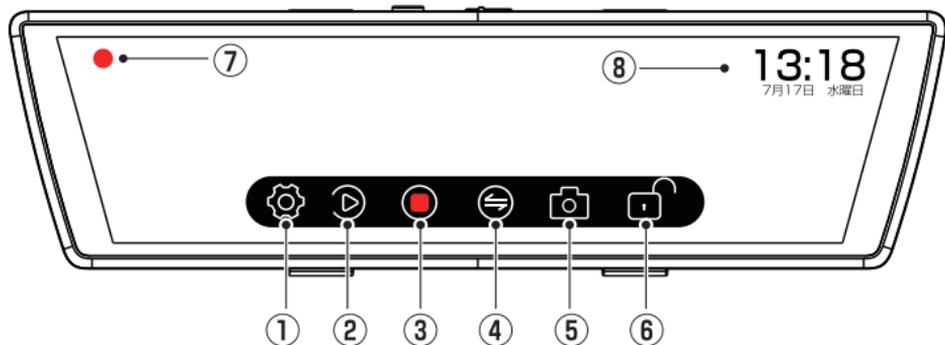
カメラモード（カメラ映像表示画面）中に液晶画面をタッチすると、ファンクションメニューが表示されます。



カメラモード時に画面タッチ

ファンクションメニューが表示される

ファンクションボタンの各働き



①設定メニューボタン

設定メニュー画面に入ります。

※設定メニュー画面に入るには録画を停止する必要があります

②再生モードボタン

再生モード画面に入ります。

※再生モード画面に入るには録画を停止する必要があります

→再生モードについて「P39 再生モード」

③録画ボタン

録画を開始・停止します。

[録画中]・・・録画停止 ()

[録画停止中]・・・録画開始 ()

画面表示・ファンクションメニューについて（つづき）

④カメラ切り替えボタン

リヤカメラ映像とフロントカメラ映像を切り替えます。

※工場出荷設定：リヤカメラ画面

※安全のため、フロントカメラ画面を表示させた場合、約 30 秒経過すると、自動的にリヤカメラ画面に切り替えます

⑤静止画撮影ボタン

現在カメラが表示している映像の静止画を撮影します。

※フロントカメラ映像とリヤカメラ映像の静止画撮影を同時に行います

※静止画撮影時の画像の解像度は、[録画モード]の解像度設定に依存します

→設定メニューについて「P47 設定メニュー」

※録画中に静止画撮影を行っても、録画中断されません

⑥緊急録画(手動)ボタン

通常録画中、緊急録画を行います。

緊急録画中、緊急録画を中止します。

⑦録画中アイコン

録画中は赤いアイコンが点滅します。緊急録画中の場合、アイコンは黄色になります。

※録画が停止している場合は、アイコンは表示されません

⑧日時表示

現在の日時を表示します。



ご注意

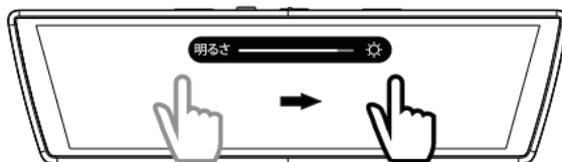
- ・ファンクションメニュー画面中、何も操作をしない状態が約 10 秒間継続すると、自動的にファンクションメニューが非表示となります。
- ・ファンクションメニューを表示させたい場合は、再度、画面をタッチします。
- ・録画開始時など、操作によっては操作に対するアナウンスが鳴動します。その場合、連続的に録画開始や停止を素早く繰り返し操作した場合、音声为正しく鳴動しない場合があります。あらかじめご了承ください。

液晶画面操作について

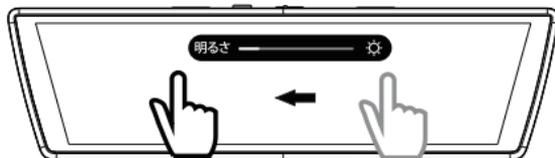
液晶画面の明るさ調整

液晶画面を左右にドラッグ操作することで、画面の輝度を調整することができます。

- 画面左側から右側へドラッグ操作すると画面輝度アップ（明るくなる）



- 画面右側から左側へドラッグ操作すると画面輝度ダウン（暗くなる）

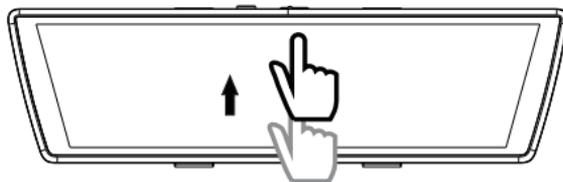


※常に明るさを最大値にしておくと、液晶画面の焼きつきが発生する可能性がありますので、ご注意ください

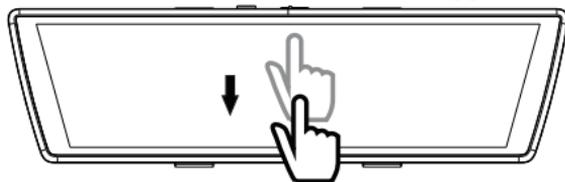
映像表示の調整

液晶画面を上下にドラッグ操作することで、カメラ映像の可視角度を調整することができます。

- 画面下側から上側へドラッグ操作するとカメラ画面が**下向き**に変わる



- 画面上側から下側へドラッグ操作するとカメラ画面が**上向き**に変わる



録画種別について

録画の種類



1. 走行モード(エンジンON)

ループ録画 (常時録画)

設定された1分間/2分間/3分間のループで録画します。microSDカードの容量が上限に達した場合は、古いファイルから自動的に上書きされます。

→ループ録画時間の設定方法「P47 設定メニュー」

→最大録画可能時間について「P34 録画ファイルについて」

1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	録画継続 . . .
-------	-------	-------	-------	-------	------------

緊急録画

●緊急録画(衝撃感知録画)

搭載されたGセンサーが衝撃を感知すると、自動的に録画ファイルを保護します。

※録画ファイルは、再生モード画面にて、ファイルの保護や解除、削除を行うことができます

→録画ファイルの保護や削除について「P39 再生モード」

※緊急録画された映像ファイルは、設定により、保護するかどうかを選択することができます

→緊急録画上書きの設定方法について「P47 設定メニュー」

※自動的に衝撃を感知して、緊急録画が行われた場合の録画分数は「ループ録画」で設定された分数に依存します

※Gセンサーの感度を調整することが可能です

→感度の設定方法について「P47 設定メニュー」

●緊急録画(手動録画)

常時録画中に、緊急録画ボタンをタッチすると手動による緊急録画を行います。

※録画ファイルは、再生モード画面にて、ファイルの保護や解除、削除を行うことができます

→録画ファイルの保護や削除について「P39 再生モード」

※手動による緊急録画が行われた場合の録画分数は「ループ録画」で設定された分数に依存します

※緊急録画された映像ファイルは、設定により、保護するかどうかを選択することができます

→緊急録画上書きの設定方法について「P47 設定メニュー」

録画種別について (つづき)

録画の種類



ご注意

- ・緊急録画 (Gセンサーによる衝撃感知) または手動による緊急録画を行なった場合の録画ファイルは、「Event」フォルダに保存され、駐車監視モード時の録画ファイルは「Parking」フォルダに保存します。
※ファイルを保護する場合は、再生モードで1ファイルずつ保護してください
→再生モードについて「P39 再生モード」
- ・「緊急録画上書き」設定が[オン]となっている場合、ファイルはmicroSDカードの容量が上限に達した場合、古いファイルから上書きして録画を継続しますので、ご注意ください。
- ・緊急録画ファイルや駐車監視モード時の録画ファイルを自動的に削除したくない場合は、「緊急録画上書き」設定で[オフ]を選択してください。
→感度の設定方法「P47 設定メニュー」

2. 駐車監視モード(エンジンOFF)

P衝撃感知録画

※衝撃は本体のみで感知します

駐車監視設定が[オン]の場合、エンジンを停止して本機の電源が[オフ]になった後でも、本機に搭載されたGセンサーが衝撃を感知すると、自動的に衝撃感知後の映像を録画します。→駐車監視モードについて「P44 駐車監視録画」

※駐車監視モードでの緊急録画ファイルは、設定により、保護するかどうかを選択することができます

→緊急録画上書きの設定方法についてP47 設定メニュー」

※駐車監視モード時のGセンサー感度は、通常のGセンサー感度とは別に設定することができます

→感度の設定方法について「P47 設定メニュー」



ご注意

- ・駐車監視モードは内蔵バッテリーで動作させることが可能ですが、長時間の駐車監視を行うには、別売の専用常時電源ケーブルが必要となります。ただし、車両のバッテリーコンディションにより、録画回数 (録画時間) が短くなる場合があります。
- ・Gセンサー感度設定が[高]に設定されている場合、衝撃が検出しやすくなります。
- ・Gセンサー感度設定が[低]に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。
- ・頻繁に衝撃感知録画が行われる場合は、Gセンサーの感度設定を見直してください。
→感度の設定方法「P47 設定メニュー」

録画ファイルについて

緊急録画ファイルについて（駐車監視モード以外）

緊急録画開始の時点により、「Event」フォルダに保存される映像ファイル数が異なります。

- (例)
- ループ(常時)録画の時間設定を「1分」に設定時、動画①⇒②⇒③…とループ録画し続けます。
 - 動画②のループ内に事故が発生し、Gセンサーが衝撃を感知、イベント録画が開始されます。
※下図★1/★2/★3は緊急録画の開始時点



＜★1の時点(動画の最初の20秒以内)で事故が発生した場合＞

動画①+動画②の合計2つの映像ファイルは「Event」フォルダへ保存されます。

＜★2の時点(動画の最初の20秒と最後の20秒以外)で事故が発生した場合＞

動画②の映像ファイルのみ「Event」フォルダへ保存されます。

＜★3の時点(動画の最後の20秒以内)で事故が発生した場合＞

動画②+動画③の合計2つの映像ファイルは「Event」フォルダへ保存されます。



ご注意

- ・衝撃を感知して緊急録画を行なった場合の録画分数は、「ループ録画」で設定された分数に依存します。

緊急録画ファイルについて（駐車監視モード時）

駐車監視モード時の緊急録画は衝撃を感知してから録画(=P衝撃感知録画)を行い、1ファイルとして保存します。→駐車監視モードについて「P44 駐車監視録画」

- ・P衝撃感知録画は、衝撃を感知してから録画を行います。感知前の録画は行いません。
- ・P衝撃感知録画中に衝撃を感知した場合
録画中(15秒間)に再度衝撃を感知した場合、衝撃を感知した時を起点として、さらに15秒間の録画を継続します。
※繰り返しの連続感知で録画された場合の最大録画分数は、「ループ録画」で設定されている分数に依存します(1ファイルとして保存します)

録画ファイルについて（つづき）

録画フォルダ

microSD カードに録画、静止画データ保存される際、以下のようなフォルダ構成となります。

※録画の種類により保存されるフォルダが異なります

▼ USB ドライブ (F:) _____	ルートディレクトリ
> 📁 Event _____	緊急録画フォルダ
▼ 📁 Normal _____	ループ録画（常時録画）フォルダ
📁 F -----	フロントカメラ映像
📁 R -----	リヤカメラ映像
> 📁 Parking _____	P 衝撃感知録画（駐車監視）フォルダ
> 📁 Photo _____	静止画フォルダ

録画ファイルと保存先フォルダ

録画ファイルと各ファイルの保存先については以下の通りとなります。

録画ファイル	保存先フォルダ	上書き
ループ録画（常時録画）	Normal フォルダ	上書きされる
緊急録画	Event フォルダ	選択可能（※）
駐車監視録画（P 衝撃感知）	Parking フォルダ	選択可能（※）
静止画	Photo フォルダ	上書きしない

※→緊急録画上書きの設定方法について「P47 設定メニュー」

録画ファイルのファイル名

各フォルダへ保存されるファイルは以下の通りとなります。
フロントカメラ映像とリヤカメラ映像はファイル名が異なります。
また、映像ファイルと静止画ファイルでは拡張子が異なります。

| 映像ファイル

FILE190725-123456F.MOV

記録日付

記録日時

拡張子

↓
静止画ファイルの場合、拡張子は「.JPG」

FILE : ループ（常時）録画
E : 緊急録画
P : 駐車監視録画
IMG : 静止画撮影

F : フロントカメラで撮影したファイル
R : リヤカメラで撮影したファイル

録画ファイルについて（つづき）

最大録画可能時間

<ループ(常時)録画> :16GB:約40分

<緊急録画録画> :16GB:約25分

<P衝撃感知録画> :16GB:約15分

※上記はフロントカメラまたはリヤカメラいずれかの最大録画時間となります

※目安の数値となります。最大録画可能時間は録画環境などにより変動します

※上記は理論値のため、目安となります(システムデータ領域も含まれます)



ご注意

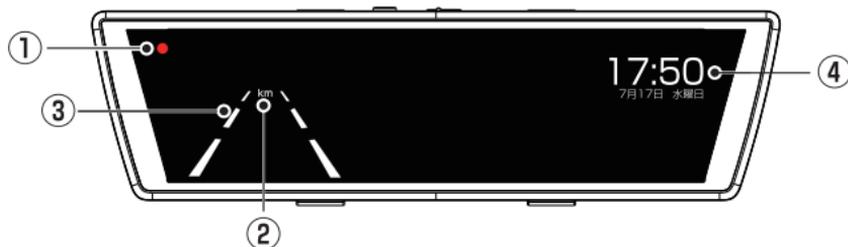
- ・ イベント録画された映像ファイルを上書きしないように設定すると、カードの容量がいっぱいになり、録画ができなくなる場合があります。
- ・ 必要に応じて、ファイルを削除、あるいは、microSDカードの内容をバックアップし、microSDカードのフォーマットをおこなってください。
→microSDカードのフォーマット方法について「P22 microSDカードについて」
→録画ファイルの消去方法について「P39 再生モード」
- ・ 「Event」フォルダと「Parking」フォルダに保存されるファイルは、録画ファイルを上書きするか、上書きしないかを選択することができます。上書きする場合は、緊急録画および駐車監視時のP衝撃感知録画ファイルが上書きされますので、ご注意ください。
→緊急録画上書きの設定方法について「P47 設定メニュー」
- ・ それぞれのフォルダ内に「F」=フロントカメラと「R」=リヤカメラのフォルダがあり、それぞれの映像ファイルが保存されます。
※リヤカメラが接続されていない場合、フロントカメラのみの映像ファイルが保存されます
- ・ 静止画ファイルが保存される「Photo」フォルダは、ファイル容量が上限に達しても上書きしませんので、静止画フォルダ内のファイルがいっぱいになると、静止画撮影ができなくなります。必要に応じて、ファイルを削除してください。
- ・ 緊急録画フォルダの上書き設定が[上書きしない]設定の場合かつ緊急録画フォルダがいっぱいになった場合、容量オーバーのアラートメッセージが表示されます。この場合、緊急録画撮影ができなくなりますので、パソコン等へデータをバックアップして、容量を確保するようにしてください。
- ・ 大切なデータは、上書きされないよう、あらかじめパソコン等にバックアップしてください。

走行モード

走行モード画面表示

設定メニューの「画面モード」設定または「モードボタン」で[走行モード]を選択した場合、「走行モード」画面が表示されます。

走行モード画面では、車速、車線逸脱警告を表示します。



①録画中アイコン

録画中は赤いアイコンが点滅します。緊急録画中の場合、アイコンが黄色になります。

②速度表示

車両の走行速度を表示します。

※車両の速度メーター表示と異なる場合があります

③車線表示

車線逸脱防止支援システムがオンに設定されている場合、以下のように走行ラインが変化します

- ・車線を逸脱した時＝走行ラインは赤色で表示
- ・停車時＝走行ラインはグレーで表示
- ・走行時＝走行ラインは白色で表示

④日時表示

本機の日付・時刻を表示します。

車線逸脱防止支援システムについて

本機は車線逸脱防止支援システムを搭載しています。

設定メニューの「車線逸脱防止支援システム」が[オン]になっている場合かつ走行モード画面時、速度が約30km/h以上で走行中、車線を逸脱した時にアラーム通知をおこないます。

<車線表示種別>



停車中 (0km/h)
※灰色で表示



走行中 (30km/h)
※白色で表示



車線逸脱時 (30km/h以上)
※逸脱した車線側のみ赤色で表示

走行モード（つづき）



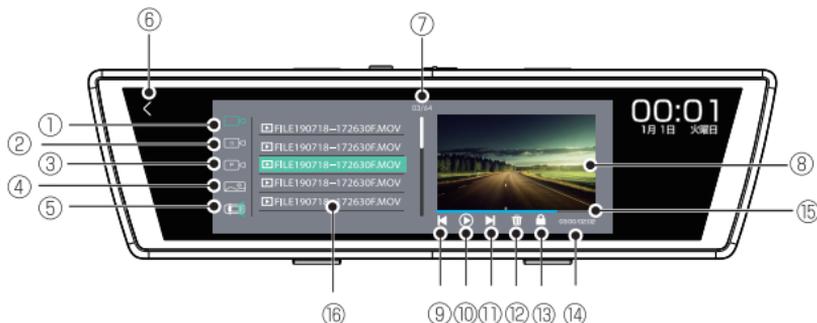
ご注意ください

- ・安全運転支援機能は、運転車の負担軽減を目的としており、周辺の状況や走行状態の変化を補助的にお知らせする機能となります。
- ・運転者は道路交通法に則った上、実際の道路状況に基づいて安全運転に努めてください。万が一、それに伴う損失が発生しても弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本機能は、運転のサポートであり、事故を未然に防ぐためのものではありません。また、すべての安全を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本機の安全運転支援機能に関しましては、ご使用中の状況、周囲の環境、気象状況等により作動しない可能性があります。
- ・本機能に頼らず、補助的なメッセージやアラートとしてご使用ください。
- ・本書に従って正しく使用していた場合であっても、動作を完全に保証するものではありません。
- ・GPSが受信できていない場合では動作しません。
- ・車両の方向指示器やスピードパルスとは連動しません。
- ・車速情報はGPSによって取得される情報です。GPS信号が受信されていない場合は表示することができません。また、表示される情報は実際の位置や速度と異なる場合があります。
- ・トンネル内やビル群、山間部などGPS電波を遮るような環境では受信しにくい場合があります。
- ・車線逸脱警告機能はフロントカメラ映像情報に基づき動作しますので、映像の状況により誤動作または動作しない場合があります。
- ・車線の劣化や雨天や逆光などにより車線を認識出来ず、正しく動作しない場合があります。
- ・路面の状態や走行状況により、機能が動作しないことや頻繁にアラーム通知がおこなわれる場合があります。
- ・夜間や悪天候時には、機能が動作しないことや頻繁にアラーム通知がおこなわれる場合があります。
- ・車線逸脱防止支援システムの動作はあくまで目安ですので、実際の道路状況にしたがって走行してください。
- ・車線逸脱防止支援システムを使用したことによる事故等に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・本製品を取り付けてのスピード違反等の違法行為に関しては、製品動作有無に関わらず、弊社は一切の責任を負いかねます。

再生モード

再生モードの画面表示

録画停止状態で、「▶」アイコンをタッチすると、再生モードを表示します。



- ①常時録画
ループ録画（常時録画）で撮影されたファイルを表示します。
- ②緊急録画
緊急録画で撮影されたファイルを表示します。
- ③P衝撃感知録画
駐車監視録画で撮影されたファイルを表示します。
- ④静止画
静止画撮影されたファイルを表示します。
- ⑤カメラ切り替え
フロントカメラもしくはリアカメラの映像ファイルに切り替えます。
- ⑥戻る
通常録画面に戻ります。
- ⑦ファイル数表示
選択されているフォルダにあるファイル数を表示します。
- ⑧サムネイル画面
- ⑨前へ
前のファイルを表示します。
- ⑩再生/一時停止
ファイル再生/一時停止します。
- ⑪次へ
次のファイルを表示します。
- ⑫削除
選択されているファイルを削除します。
- ⑬保護
選択されているファイルを保護（ロック）します。
- ⑭分秒
再生分秒を表示します。
- ⑮プログレスバー
再生分秒をバー表示します。
- ⑯再生リスト
ファイル再生リストを表示します。

再生モード（つづき）



ご注意

- ・保護ファイルを削除したい場合、保護ボタンをタッチして、保護を解除してから削除してください。保護（ロック）がかかっている状態では、削除することはできません。
※ここでいう「保護」とは、録画時に上書きする・しないという意味ではなく、再生モード画面でのファイル削除に対する保護（ロック）となります
- ・再生モード中、何も操作をしない状態が約30秒間継続すると、自動的に通常録画面に戻り、録画を開始します。
- ・操作が終了したら、必ず[戻る]ボタンをタッチして、通常録画面に戻してください。
- ・再生モード中に衝撃を感知しても、緊急録画は行われませんので、ご注意ください。

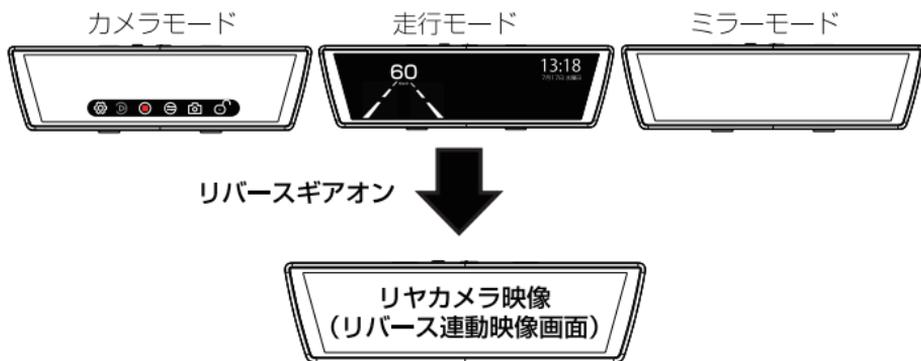
リバース連動

リバース連動とは

車両のリバース信号がオンになった際（バックギアに入れた場合）、自動的にリヤカメラ映像を表示させる機能です。リバース連動の動作条件に満たしている場合は、画面モードがどの画面モードであっても、自動的にリヤカメラ映像に切り替わります。また、リバース連動が作動した場合、リヤカメラの映像表示角度をお好みの角度に調整することが可能です。

※画面が通常のカメラモード（リヤカメラ映像）とリバース連動したリヤカメラ画面では、画面の扱いが異なります

▶リバース連動



- 1.バックギアを入れる
- 2.液晶に表示される画面が、自動的にリヤカメラ（リバース連動）映像に切り替わる
※画面モードがどの状態であっても、自動的に切り替わります

リバース連動機能を使用するには（動作条件）

リバース連動機能を使用するには、以下の準備と設定が必要となります。

- リバース信号線を車両のリバース信号に接続する
→接続配線図について「P16 取り付けについて」
- リバース連動の設定をオンにする
→リバース連動の設定について「P47 設定メニュー」

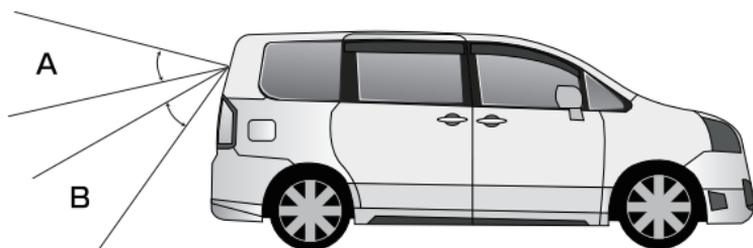
※上記の接続と設定が条件に満たしていない場合、リバース連動機能は作動しません

リバース連動（つづき）

リバース連動時の映像表示について

通常のカメラモード（リヤカメラ映像）で表示されている画面表示位置（画面角度）とリバース連動で表示されるリヤカメラの映像画面表示位置（角度）は、別々にメモリすることが可能です。

例えば、カメラモードのリヤカメラ映像は後方の車両を表示する角度にして、リバース連動時のリヤカメラ映像は、一般的なバックカメラと同じように下向きに表示する角度に調整して、使い分けることができます。そのため、後退する際、障害物などが確認しやすくなります。



A：カメラモード（リヤカメラ映像表示角度）

B：リバース連動で表示される映像表示角度

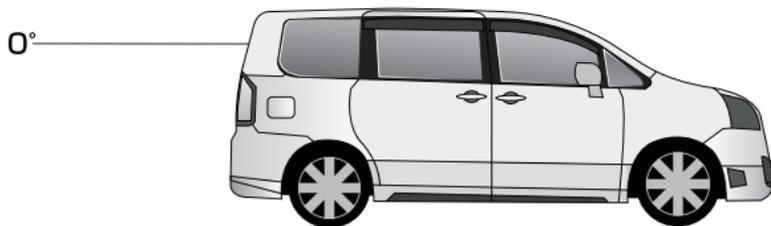
リバース連動時の角度メモリについて

リバース連動時のカメラ表示位置（角度）は、通常のカメラモード（リヤカメラ映像）の表示位置（角度）と別々にメモリ保存することができます。

※設定された後、エンジンを一度オフして、再度次回起動した場合は、設定された表示角度で表示されます

※工場出荷状態にした場合は、メモリ保存は初期化され、初期表示位置に戻ります

※初回起動時や工場出荷出荷状態にした場合、リバース連動時のカメラ角度の初期値は、リヤカメラを水平状態で中心を 0° と考えた場合、 0° となります



リバース連動（つづき）

リバース連動時の映像表示角度調整について

リバース連動で表示されるカメラ表示の角度を変更する場合は、以下の方法で設定をしてください。どちらの調整でも、表示角度は共通であり、初期化しない限り、表示角度を記憶します。

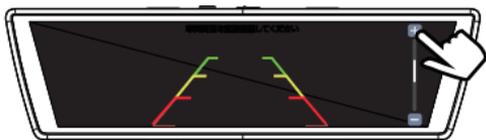
●設定メニューにて角度を変更する場合

設定メニュー内にある「リバース連動表示調整」を選択して、画面右側にある[+]、[-]ボタンをタッチすると角度調整ができます。

→リバース連動表示調整について「P47 設定メニュー」

●リバース連動表示画面で角度を変更する場合

リバース連動によるリヤカメラ映像画面中に、画面を直接ドラッグ操作して映像表示角度を変更します。



⚠️ ご注意

- ・リヤカメラの取り付け位置によっては、角度調整を行ってもリバース連動した際、画面表示位置（角度）が下方向をカバーできない場合があります。その場合は、リヤカメラの取り付け位置やリヤカメラ自体の取り付け角度を調整してください。

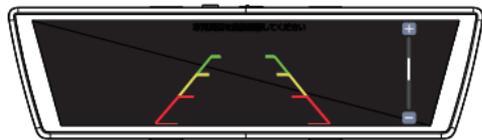
リバース連動時の目安線表示について

リバース連動した際、後退時の補助目安線を表示することができます。

目安線を表示する・しないは設定で選択することが可能です。

カメラを取り付ける車種によって、目安線の表示タイプを変更して、適切な表示に設定してください。

→目安線表示設定について「P47 設定メニュー」



⚠️ ご注意

- ・本製品は死角を完全にカバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ・目安線はあくまで補助的な目印となります。
- ・車種によっては、目安線が正しく合わない場合があります。

駐車監視録画

駐車監視モードについて

本機は、電源をオフにした後も、内蔵バッテリーもしくは別売の常時電源ケーブル (DRC-P05) を接続することにより、エンジンオフ後の駐車中でも衝撃を感知すると衝撃感知録画を行う「駐車監視モード」機能が搭載されています (=P衝撃感知録画)。

駐車監視時の衝撃感知録画について (P衝撃感知録画)

車両エンジンをオフ(ACCオフ)すると、約5秒後に駐車監視スタンバイとなります。駐車監視スタンバイ状態中、搭載されたGセンサーが衝撃を感知すると、自動的にP衝撃感知録画をおこないます (約15秒間)。

録画終了後は、再び、P衝撃感知録画スタンバイ状態に移行します。

車両エンジンを始動(ACCオン)すると、本機の電源がオンとなり、ループ (常時) 録画が開始されます。



駐車監視設定について

駐車監視録画を行うには、設定メニューの「駐車監視」を[低]/[高]のいずれかに設定してください。[オフ]の場合は、駐車監視モードに切り替えることができません。

→駐車監視設定方法について「P47 設定メニュー」

内蔵バッテリー動作および常時電源ケーブルについて

駐車監視録画は以下の通りで動作します。

●シガー電源アダプター接続の場合

▷内蔵バッテリーで動作します。

※内蔵バッテリーの充電が空になると、駐車監視モードは終了し、電源がオフとなります

●常時電源ケーブル (別売品:DRC-P05) 接続の場合

▷車両のバッテリーで動作します。

※車両バッテリー電圧が12V (12V車) / 23V (24V車) になると電源供給を止め、内蔵バッテリーでの動作に切り替わります。内蔵バッテリーの充電が空になると、駐車監視モードを終了し、電源がオフとなります

→専用常時電源ケーブル(別売)について「P54 その他」

駐車監視録画(つづき)



ご注意

- ・ 駐車監視モード中（P衝撃感知録画スタンバイ状態およびP衝撃感知録画中）は、本機の液晶画面は表示されません(液晶オフ状態となります)。また、モードボタンも無効となります。
- ・ 駐車監視モード時に駐車監視状態をオフにしたい場合は、一度、エンジンオンして、通常してから、設定メニューから「駐車監視」設定の[オフ]を選択してください。
- ・ 設定メニューの「駐車監視」設定を[オフ]にすると、エンジンをオフしてもP衝撃感知録画スタンバイ状態に移行されません。

→駐車監視設定方法「P46 設定メニュー」

- ・ ドアの開閉時の振動を検出して、P衝撃感知録画が動作することがあります。
- ・ 衝撃を感知するのは本体に搭載されているGセンサーとなります。リヤカメラによる衝撃検知の機能は働きません。
- ・ 駐車監視モード中のP衝撃感知録画中にエンジンオン（本体電源がON）した場合は、緊急録画を続行します。この時の録画時間は、ループ録画設定で設定した時間に依存し、録画ファイルはParkingフォルダに保存されます。

→ループ録画設定方法「P47 設定メニュー」

- ・ 駐車監視モード時のP衝撃感知録画中に再度衝撃を感知した場合、録画延長します。最大の録画時間はループ録画の設定時間に依存します。

→ループ録画設定方法「P47 設定メニュー」

- ・ 衝撃感知のセンサーレベルによっては、P衝撃感知録画が多くなる場合があります。環境に応じて、Gセンサーの調整をしてください。

→駐車監視設定方法「P47 設定メニュー」

- ・ P衝撃感知録画は本機の内蔵バッテリーによって動作します。内蔵バッテリーの状態によってP衝撃感知録画が稼働できる時間や録画回数が異なります。
- ・ 駐車監視の録画回数をより多く記録したい場合は、別売の常時電源ケーブル（DRC-P05）をお求めください。
- ・ 常時電源ケーブルご使用の場合、車両のバッテリーを使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。
- ・ 次の方は、車両バッテリー上がりの原因になりますので、常時電源ケーブルでのご使用には十分ご注意ください。
 - ▶ 毎日走行しない場合
 - ▶ 1日の走行が1時間以下の場合
 - ▶ 車両バッテリーを1年以上使用している場合

※上記はあくまで目安となりますので、バッテリーコンディションを確認するようにしてください

- ・ 常時電源ケーブルを使用したことによる車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。

- ・ 駐車監視モード時のP衝撃感知録画回数はmicroSDカードの空き容量や内蔵バッテリーの容量に依存します。

※常時電源ケーブルを使用する際、バッテリーコンディションにより、録画時間（録画回数）が少なくなる場合があります

※録画環境などの条件により録画回数や録画ファイル数は変動します

設定メニュー画面

設定メニューについて

録画停止状態で、「」ボタンをタッチすると、設定メニュー画面を表示します。

▼通常録画面面(カメラモード)

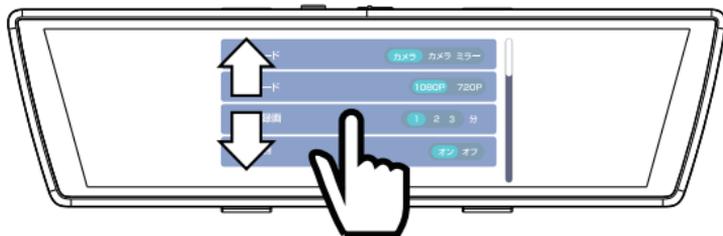


設定メニューボタン



 設定メニューボタンをタッチ

▼設定メニュー画面



設定メニュー画面で、設定リスト項目を上下にドラッグ操作することで、メニュー項目のページ（項目）を切り替えることができます。



ご注意

- ・設定メニュー画面中、何も操作をしない状態が約30秒間継続すると、自動的に通常録画面に戻り、録画を開始します。
※通常録画面の画面モードは、設定されている画面モードに依存します
→緊急録画上書きの設定方法について「P47 設定メニュー」
- ・設定メニュー画面中に衝撃を感知しても、緊急録画は行われませんので、ご注意ください。

設定メニュー

項目	設定内容	
画面モード	カメラ	液晶画面に表示する画面モードを設定します。 ※本設定を変えた際、通常録画画面に戻った際、約30秒後に設定された画面に切り替わります
	走行	
	ミラー	
録画モード	1080P	フロントカメラの記録解像度を設定します。 リアカメラは[1080P]固定となりますので、変更できません。 ※この設定は、静止画撮影時の解像度にも反映されます
	720P	
ループ録画	1分	常時録画(ループ録画)で記録される1ファイルごとの録画時間を設定します。
	2分	
	3分	
音声録音	オン	音声録音をします。
	オフ	音声は録音をせず、映像のみ記録します。
Gセンサー	高感度	Gセンサー(衝撃感知)の感度レベルを設定します。 高感度：衝撃を検出しやすくなります 低感度：衝撃を検出しにくくなります
	標準	
	低感度	
緊急録画上書き	オン	緊急録画および駐車監視モード時のP衝撃感知録画ファイルがSDカードの保存占有率に達した時、すでにあるファイルを上書きして録画を続けるか、上書きせずにファイルを保護するかを選択します。 オン(上書きする) ：自動的に古いファイルを削除して、新しいファイルを保存します オフ(上書きしない) ：ファイルがフォルダ上限に達した場合、緊急録画や駐車監視モード時に衝撃感知が行われても録画は行われません ※オフに設定した場合、microSDカード容量が上限に達すると、緊急録画および駐車監視モード時のP衝撃感知録画ができなくなり、エラー表示されます ※対象となる保存フォルダは、「Event」フォルダと「Parking」フォルダです
	オフ	
駐車監視	オフ	駐車監視機能を行いません。 ※外部電源がシガー電源ケーブルでも常時電源ケーブルでも同様となります
	高	駐車監視機能をオンにします。駐車監視モード時の衝撃感知レベルは高感度(検出しやすくなる)にします。
	低	駐車監視機能をオンにします。駐車監視モード時の衝撃感知レベルは低感度(検出しにくくなる)にします。
リバース連動	オン	リバース連動機能のオン・オフを設定します。
	オフ	※リバース連動機能を有効にするには、本設定を[オン]にする以外に、リバース信号線の接続も行ってください(本設定だけでは有効になりません)
リバース連動表示調整	リバース連動した際のリヤカメラ映像表示画面の角度を調整します。 ※調整した表示角度はリバース連動すると、毎回同じ角度で表示します ※工場出荷状態にした場合は、記憶した表示角度は初期値に戻ります	
目安線表示	高	リバース連動時のリヤカメラ映像に目安線を表示させるかどうかを設定します。 ※高・中・低は、「車幅」および「距離」のガイドラインが異なります ※実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります ※車種や取り付け位置によって目安線が適切ではない場合があります ※オフを選択した場合は、目安線は表示されません
	中	
	低	
	オフ	

設定メニュー（つづき）

項目		設定内容と説明
リヤカメラ鏡像	正像	リヤカメラ映像を正像で表示します。
	鏡像	リヤカメラ映像を鏡像で表示します。 ※鏡像に設定した場合でも、録画ファイルは正像表示となります
操作音	オン	本体の操作音を鳴動する・しないを設定します。
	オフ	
車線逸脱防止支援システム	オン	車線逸脱防止支援システムのオン・オフを設定します。
	オフ	
ボリューム	音量を調整します（消音を含め、7ステップ）。 ※【音声ガイダンス】【ファイル再生音量】【操作音】の音量が連動します	
フリッカレス	オン	録画時にLED信号灯や蛍光灯などのちらつきを防止します。 ・50Hz：東日本地域の場合に設定します ・60Hz：西日本地域の場合に設定します
	オフ	
日付設定	[+]・[-]ボタンで設定します。[OK]をタッチすると、次の設定項目にカーソルが移動します。秒数の設定後に[OK]をタッチすると、一つ前の画面に戻ります。 ※日付を設定したあと、一つ前の画面に戻ると設定値が反映されます ※「GPS設定」が[GPS]もしくは[GPSユニット]に設定されている場合、反映できません	
日付スタンプ	日付+型番	録画ファイルに日付や製品型番等を記録する・しないを選択します。
	日付	
	型番	
	オフ	
表示言語	日本語	本機の表示言語を選択します。 ※言語を日本語以外に設定した場合、音声ガイダンスは日本語のままとなります
	English	
	簡体中文	
	繁体中文	
GPS設定	内蔵	本体内蔵のGPSを使用します。
	GPSユニット	別売のGPSユニットを使用した時、この設定にします。
GPS状態	GPSの受信レベルや状態を表示します。	
車速単位	MPH	速度表示の単位を設定します。
	KMH	
初期化	実行/キャンセル	設定メニュー項目を全て工場出荷状態に戻します。
フォーマット	実行/キャンセル	microSDカードをフォーマット（初期化）します。 ※SDカードをフォーマットする前に、重要なデータをPC等でバックアップしてください。
FWバージョン	本機のバージョンを表示します。	

PCビューワーについて

専用再生アプリケーションを使用すると、録画した映像をPC上で表示再生することができます。

PC動作推奨環境

対応OS	Microsoft® Windows® 7、8、8.1、10 (64bit)
CPU	2.2GHz以上で2コア以上のCPU
メモリ	RAM 8GB (DDR3) 133MHz 以上
HDD	100MB以上の空き容量が必要
ディスプレイ	1280x720以上の解像度で表示可能なディスプレイ
対応ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer®10以降
その他	.NET Framework 4.5以上 ※インストール時、使用時ともにシステム管理者 (Administrator) 権限が必要な場合があります ※microSDカードを読み込みできるパソコン環境が必要です。お使いのパソコンがmicroSDカードに対応していない場合は、市販のUSBカードリーダーなどをご使用ください ※シンボリックリンクでの動作保証はしておりません ※インターネット環境が必要となります

- Macには対応していません。
- すべてのOS・パソコンについて動作を保証するものではありません。
- お使いになるパソコンの処理能力や環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
- 機能改良のため、PCビューワソフトのアップデートを行う場合があります。詳しくはホームページを参照ください。
※地図表示等が変更される場合があります。あらかじめご了承ください

PCビューワソフトダウンロードについて

以下、弊社ホームページより専用PCビューワソフトをダウンロードしてください。
使用方法などの詳細な説明はホームページ上にあります。

<http://www.innovativesale.co.jp/link/azurgoods.htm>



ご注意

- ・パソコンのスペックにより、動作しない場合があります。
- ・上記およびホームページに記載のあるパソコンのスペックを満たしている場合であっても、すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。
- ・OSのアップグレード環境、マルチブート環境での動作は保証しておりません。
- ・自作パソコン、タブレットパソコンでの動作は保証しておりません。
- ・パソコンの環境によっては、SDカードが認識できなかったり一部機能をご利用頂けないなどの症状が発生する場合があります。その際の損失ならびにその他の直接または間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いかねます。
- ・パソコン環境に関するお問い合わせは、パソコン各メーカーまたは販売店にお願いします。
- ・仕様変更および改良のため、予告なくバージョンアップする場合があります。その際、地図表示内容やソフトの表示、操作が変更される場合があります。
- ・パソコンのスペック変更等がされた場合、本ソフトが正しく動作しない場合があります。

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認してください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

症状	原因	対処方法
電源が入らない	●シガーアダプターの接続不良の可能性があります。	●シガーアダプターを一度外してから、再度接続し直してください。また、シガーソケットに確実に差し込まれているかを確認してください。
	●分岐ソケットを使用していませんか？	●シガーアダプターを分岐されたソケットに接続すると、火災や故障及び誤動作の原因になります。
	●付属のシガーアダプターを使用していますか？	●付属のシガーアダプター以外の電源を使用しないでください。火災や感電及び誤動作の原因になります。
	●本機が使用できる温度環境ではない場合があります。	●本機は「-10℃～+60℃」温度環境下で使用できます。
誤動作をする	●本機のシステムが誤動作を起こしている場合があります。	●本機のリセットボタンを押してください。
録画したはずのファイルがない	●常時録画ファイルはmicroSDカードの保存領域が上限に達した場合、古いファイルから上書きされます。	●ファイルを残しておきたい場合は、定期的バックアップすることをおすすめします。
液晶画面にドット抜けがある	●液晶パネルの特性です。不良ではありません。	—
録画できない	●microSDカードが本体に挿入されていますか？	●microSDカードが本体に挿入されていることを確認してください。
	●microSDカードの読み込みエラーが発生していませんか？	●microSDカードをフォーマットしてください。フォーマットしても改善されない場合は、別のmicroSDカードでお試しください。または、再度microSDカードの抜き差しをおこなってください。
操作音や音声ガイダンスが鳴動しない	●本体音量や操作音がオフもしくは0になっていませんか？	●設定メニューの「ボリューム」、「操作音」の設定を確認してください。
GPSが受信できない	●GPS電波が受信しづらい場所を走行していませんか？	●トンネル内やビルの谷間などはGPS電波を受信しづらい場合があります。
	●本機を起動したばかりではありませんか？	●本機を起動した直後はGPS電波を受信しづらい場合があります、しばらく経ってから再度確認してください。
	●内蔵GPSが受信できない車内環境ではありませんか？	●純正ミラーの取り付け方を見直してください。 ●車種によっては、GPSが受信しにくい可能性があります。 ●別売のGPSユニットをお買い求めください。

トラブルシューティング (つづき)

症状	原因	対処方法
GPSが受信できない	●工場出荷をした直後ではありませんか？	●GPS受信ができていない状態で、工場出荷設定に戻した場合、GSP受信するのに約2分程度かかる場合があります。
	●GPS設定を切り替えた直後ではありませんか？	●別売品のGPSユニットが取り付けられていない状態で、「GPS設定」を[内蔵]から[GPSユニット]に変更した後、工場出荷設定に戻した場合、GPSが受信できません。その場合、一度エンジンオフ→オンで再起動してください。 ●別売品のGPSユニットが取り付けられている状態で、GPS設定を[GPSユニット]から[内蔵]に変更すると、GPS受信するまで約1分~2分かかる場合があります。 ※環境によって、受信時間は異なります
再起動する 場合がある	●アイドリングストップ車の場合、バッテリーのコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで電源が再起動する場合があります。	●車両の電圧を確認してください。
	●電源が入っている時に、各ケーブルの抜き差しをすると、本体がで再起動または電源オフになる場合があります。	●電源が入っている状態で、ケーブルの抜き差しは行わないでください。 思わぬ動作となる場合や故障する場合があります。
信号機表示が 消えてしまう	-	●映像の記録周期とLED式信号機の周期によっては、一瞬信号機表示が消えて見える場合があります。また、逆光などの環境によっては信号機表示が確認できない場合があります。その場合は前後の記録映像や周囲の車両の状況から判断してください。 ●信号機表示が確認できないことによる事故やトラブルに関しまして、弊社は一切その責任を負いかねます。
緊急録画が 頻繁におこな われる	●Gセンサー感度の設定が適切ではない可能性があります。	●設定メニューの「Gセンサー」から設定を変更してください。
他の車載機に 影響が出る (テレビが映ら ない等)	●取付場所はアンテナ、レーダーなどに50cm内に位置していませんか？	●高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、テレビ受信やラジオ受信に干渉し、受信感度が低下する場合があります。また、ETCアンテナ等から50cm以上離して取付するか、アンテナを離してください。車両の各種センサー装置(安全運転支援装置、各種レーダー等)や防眩ミラーセンサー等がある場合は、それらの妨げにならない位置に設置してください。

トラブルシューティング (つづき)

症状	原因	対処方法
画面が表示しない	● 駐車監視モードではありませんか？	● 駐車監視モード時は画面表示しません。 また、MODEボタンも無効となります。
画面が ちらつく	● 内蔵バッテリーの充電が不十分な可能性があります	● 長時間使用していない場合、内蔵バッテリーの充電が不足します。その場合は、十分に充電してください。
	● 電源供給が不安定な可能性があります	● 付属品のシガー電源アダプターを使用してください。 ● 分岐されたシガーソケットを使用している場合は、直接車両のシガーソケットに差し込んで使用してください。
	● 各ケーブルの接続が正しく接続されていない可能性があります。	● 各ケーブルの接続を見直してください。
リヤカメラが表示しない	● 各ケーブルの接続が正しく接続されていない可能性があります。	● リヤカメラは接続されていますか。 ● 各ケーブルの接続を見直してください。
SDカードエラーが発生する	● 定期的にSDカードをフォーマットしていますか？ ● SDカードが正しく挿入されていますか？ ● SDカードが破損している可能性があります。 ● SDカードに異常が発生している可能性があります。	● SDカードをフォーマットしてください。 ● SDカードを正しく挿入し直してください。 ● SDカードを交換してください。 ● パソコンでSDカードをフォーマットしてください。 ● 本機を再起動してください。 ※SDカードをフォーマットする場合、保存されているデータが消去されますので、ご注意ください
フォーマットができない	● SDカードに異常が発生している可能性があります。	● パソコンでSDカードをフォーマットしてください。 ● SDカードを交換してください。 ※SDカードをフォーマットする場合、保存されているデータが消去されますので、ご注意ください

エラーメッセージについて

主なエラーメッセージについて

メッセージ内容	原因	対処方法
SDカードが挿入されていません SDカードを確認してください	microSDカードが挿入されていないか、microSDカードが読み取れない状態になっています。	microSDカードを挿入してください。 ※付属品のmicroSDカード以外を使用すると、認識できない場合があります
SDカードが認識できません SDカードを確認してください	microSDカードが読み取れない状態になっています。	microSDカードを確認してください。 microSDカードが破損している可能性があります。microSDカードをフォーマットしてみてください。 ※フォーマットすると、全てのファイルが消去されますので、ご注意ください ※付属品のmicroSDカード以外を使用すると、読み書きができない場合があります
緊急録画ファイルの上限です SDカードを確認してください	EvnetフォルダまたはParkingフォルダがいっぱいになっています。	対象のフォルダにある録画ファイルを削除するか、microSDカードをフォーマットしてください。 ※フォーマットすると、全てのファイルが消去されますので、ご注意ください ※緊急録画上書きの設定を見直してください（古いファイルが上書きされ、消去されるため、設定については十分ご注意ください）

その他

SDカードフォーマットについて

長期間、SDカードをフォーマットせず、録画データを書き込み続けると、ファイルの断片化が発生しやすくなります。定期的なフォーマット(SDカード内を初期化すること)をお勧めします。

※SDカードについておよびフォーマットについてはP.21を参照してください

※ファイル断片化について

SDカードはNANDフラッシュ及びコントローラで構成されており、不良セクタを含む場合があります。不良セクタにはデータの書き込みは行われず、繰り返しデータ記録が続けられると、不良セクタの位置の判断ができなくなり、記録できる領域が減少します。また、不良セクタにより、カードエラーや書き込みエラーの原因となる場合があります。

そのため、安定してご使用いただくため、定期的なフォーマットをお勧めしています

→フォーマットについて【P21 microSDカードについて】

別売品

●常時電源ケーブル(製品型番:DRC-P05)

- ・ 駐車監視時の衝撃感知録画をより多くの回数で録画をしたい場合など、常時電源ケーブルをお買い求めください。
- ・ 専用常時電源ケーブルは、常時電源(バッテリー)、アクセサリ、アースの接続が必要となります。取り付けには、専門の知識と技術が必要となりますので、販売店や専門技術者へ依頼してください。
- ・ 専用常時電源ケーブル以外は使用できません。

<ご注意(あらかじめご了承ください)>

常時電源ケーブルご使用の場合、車両のバッテリーを使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。

定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。

- ・ 次の方は、車両バッテリー上がりの原因になりますので、常時電源ケーブルでのご使用には十分ご注意ください。

▶ 毎日走行しない場合

▶ 1日の走行が1時間以下の場合

▶ 車両バッテリーを1年以上使用している場合

※上記はあくまで目安となりますので、バッテリーコンディションを確認するようにしてください

- ・ 常時電源ケーブルを使用したことによる車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 常時電源ケーブルを使用する際、バッテリーコンディションにより、録画時間(録画回数)が少なくなる場合があります。
- ・ 専用常時電源ケーブルを使用したことによる車両のバッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・ 車両のシステム(ハイブリッドシステムや電気自動車等)によっては、期待した動作にならない場合があります。

<常時電源ケーブル接続時の動作について>

▶ 駐車監視の設定が[オフ]の場合:

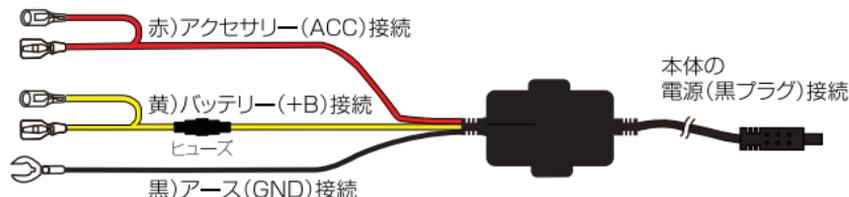
エンジンを停止すると、本機の電源がオフとなります。駐車監視モードには切り替わりません。

▶ 駐車監視の設定が[高]または[低]の場合:

エンジンを停止すると、一度電源がオフとなり、その後、駐車監視モードに切り替わります。

駐車監視モード中、車両のバッテリー電圧が一定の電圧に低下すると(※)、車両バッテリーからの電源供給を停止し、引き続き、内蔵バッテリーに切り替わります。内蔵バッテリーがなくなると、電源をオフとなり、駐車監視モードは終了します。(※12V車: 12V/ 24V車: 23Vで電力供給を止めます)

- ⚠ 常時電源ケーブルを使用すると、車両バッテリーの消費電力が多くなりますので、ご注意ください。また、常時電源ケーブルの接続を誤ると、バッテリー上がりの原因となりますので、ご注意ください。



その他

別売品

●GPSユニット

本機は、本体内部にGPSを搭載しておりますが、車種や取り付けによっては、GPSの受信感度が低下する場合があります。その場合、別売品のGPSユニットをご購入ください。

※GPSユニットのアンテナ部分はダッシュボード上に設置してください(運転の妨げにならないように設置してください)

GPSユニットを接続する場合、必ず、本体の電源がオフになっていることを確認してから接続してください。電源がオンの状態で接続すると、故障や破損の原因となります。

取り付け後は、設定メニューにある「GPS設定」で「GPSユニット」を選択してください。選択していない場合、GPSが受信できません。また、GPSユニットを取り外した場合は、[内蔵]を選択してください。

●microSDカード

microSDカードは消耗品となります。microSDカードが使用できなくなった際は、別売品のmicroSDカードをお買い求めください(microSDカードは消耗品のため、保証の対象なりません)。

※市販品のmicroSDカードの使用ができますが、動作不良や故障に対する保証は行っておりません

※紛失等による付属品の追加購入につきましては、お買い上げの販売店またはサービスセンターへお問い合わせください

日時保持期間について

本機はGPS受信機を搭載していますが、GPSの受信ができない環境が長時間続いた場合、内部の時計保持機能がリセットされる場合があります。

その場合、GPSが受信できる環境へ移動すると、正確な日時を取得・表示することができます。

→GPSについて「P5 注意事項」

もしも事故が起きたら

事故発生時は、記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して、安全な場所へ保管するようにしてください。

※事故発生時の参考資料として使用することができますが、事故の証拠として効力を保証するものではありません

<保管場所について>

SDカードは精密電子部品となります。下記のような場所で取り扱い、保管をするとSDカード内に保存されているファイルが破損する恐れがありますので、ご注意ください。

- ・ 静電気が発生する場所
- ・ 水に濡れたり、湿気が発生する場所
- ・ 衝撃を受ける場所(曲げ/折り含む)
- ・ 腐食性ガスが発生する場所

SONY STARVIS™ (スタービス)について

本機のフロントカメラおよびリヤカメラには、夜間やトンネル内等の暗い場所でも明るく撮影をすることができる高感度・高画質を実現した裏面照射型画素技術の「STARVIS」を採用したCMOSイメージセンサーを搭載しています。

※STARVIS(スタービス)および **STARVIS** は、ソニー株式会社の商標です

製品仕様

品番	SRM-1	
商品名	スマートルームミラー(ドライブレコーダー機能搭載)	
液晶	9.88インチ タッチパネルIPS液晶 (静電式1600×400)	
記録媒体	microSDカード (16GB Class 10 同梱)	
レンズ(フロントカメラ)	イメージセンサー 視野角(画角) F値 フレームレート	SONY IMX307 (STARVIS) 1/2.8型CMOSセンサー 対角: 145° /水平: 120° /垂直: 70° 1.8 27.5fps
レンズ(リヤカメラ)	イメージセンサー 視野角(画角) F値 フレームレート	SONY IMX307 (STARVIS) 1/2.8型CMOSセンサー 対角: 135° /水平: 115° /垂直: 65° 1.6 25fps
動画記録解像度(フロントカメラ)	1080P (1920×1080P) /720P (1280×720P)	
動画記録解像度(リヤカメラ)	1080P (1920×1080P)	
静止画記録解像度(フロントカメラ)	FHD (1920×1080P) /1M (1280×720P)	
静止画記録解像度(リヤカメラ)	FHD1080P (1920×1080P)	
ファイル形式	動画:「.mov」/静止画:「.jpeg」	
ループ(常時)録画時間	1分/2分/3分	
録画モード	ループ(常時)録画/緊急録画(衝撃感知または手動)/駐車監視録画(衝撃感知)	
静止画撮影	対応	
Gセンサー(通常録画)	高感度/標準/低感度	
Gセンサー(駐車監視モード)	高感度/低感度	
画像補正技術	WDR(フロントカメラ/リヤカメラ)	
音声録音	オン/オフ可能	
ガイダンス音声	対応	
GPS	搭載(内蔵) ※別途、オプション品「GPSユニット」あり	
専用PCビューワー	対応(ホームページよりダウンロード)	
内蔵バッテリー容量	700mAh	
使用電源電圧	12V/24V	
消費電力	最大10W	
動作温度	-10℃~60°	
外形寸法(本体)	約269 (W) ×75 (H) ×25 (D) mm	
外形寸法(リヤカメラ)	約72 (W) ×40 (H) ×28 (D) mm (取り付けステー含む)	
重量(本体)	約410g (ケーブル類除く)	
重量(リヤカメラ)	32g (取り付けステー除く)	

※本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※機能改良のため、ファームウェアのアップデートを行う場合があります。詳しくは下記のホームページを参照ください。

<http://www.innovativesale.co.jp/>

àZUR

販売元：**株式会社イノベティブ販売**

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

<http://www.innovativesale.co.jp/>

お問い合わせはサービスセンターへ

▼電話でのお問い合わせ

048-970-5027 (通話料がかかります)

電話受付時間 平日 9:00～12:00、13:00～17:00

(土日祝祭日、弊社休業日は除く)

▼メールでのお問い合わせ

cs@innovativesale.co.jp